



## 目次 :

挨拶 1

法人概要 1

役員紹介 2

活動報告 2

会員談話 3

パソコン  
テクニック 4

活動予定 4

編集後記 5

## 挨拶

当NPO法人も設立から3年目を向かえ、正会員、賛助会員とも人数が増え、今回ようやく会報誌を発行するにいたりました。会報誌では、活動の報告や今後の予定、あとはパソコンのワンポイントテクニックなどさまざまな内容を盛り込んでみました。

初の第一回はせっかくなので当法人のあり方を見つめなおそうということと新しく入った人にも当法人について知ってもらおうということで法人概要、役員紹介から掲載いたしました。また、初年度から会員でいらっしゃる方も役員に変更があったので読んでもらいたいと思います。

自分の知ってるパソコンの豆知識をみんなにも教えてあげよう、ということでパソコンワンポイントテクニックという項目を設けてみました。記念すべき第一回は理事の真水健介にお願いいたしました。ぜひともお読みください。このコンテンツは毎回違う人に書いてもらいたいと思うのでもし、みんなにぜひ知ってもらいたい、というテクニックをお持ちの方はぜひとも名乗り出て記事を書いてみてはいかがですか？

そのほかにも今年度に入ってからの活動の報告や活動に携わった講師、アシスタント。受講生の皆様の感想なども会員談話というコンテンツとして設けてみました。また今後の予定も掲載していますので自分が参加したいと思う活動があるなら

ばぜひとも参加してみてください。

当法人のさらなる発展を目指して役員一同がんばりたいと思うので会員の皆様方の積極的な協力や参加をお待ちしております。



## トピック :

- 法人概要
- 役員紹介
- パソコン  
ワンポイント  
テクニック

## 法人概要

当法人は、次に掲げる種類の特定非営利活動を行っています。

- (1) 情報化社会の発展を図る活動
- (2) 社会教育の推進を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (4) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (5) 子どもの健全育成を図る活動

## 主な具体的な事業内容

- ・コンピュータの教育・支援に関する事業
- ・コンピュータの検定試験に関する事業
- ・コンピュータのコンテストに関する事業
- ・コンピュータソフトウェア開発に関する事業
- ・コンピュータ関連出版物の発行事業

## 役員紹介

理事長：根元雅昭

○会津大学 大学院コンピュータ 理工学研究科 情報システム学  
専攻 博士後期過程在学中  
○雅テクノロジー代表  
○福島県立会津第二高等学校非常勤講師

コンピュータの教育や支援活動を行うことによるさまざまな年代の方々との交流によって人と人との繋がりが生まれ、そこから新たな社会貢献活動が生まれることも期待いたします。コンピュータの可能性は無限大であり、より良い方向に使うことにより素晴らしい効果が規定できると確信しています。役員一同、当方人の目的と「情報化社会の発展」「社会教育の推進」「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」「職業能力の開発又は雇用機会の拡充」「子供の健全育成」を目指し、精一杯がんばって行きたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。



理事：真水健介

○会津大学コンピュータ理工学部卒業  
○有限会社あいづ・ジャパン社員

新潟県出身 2003年9月 会津大学卒業

在学中は理事長や会員とともに様々な活動に参加。現在、会津若松市の有限会社あいづ・ジャパンにてプログラマ・システムエンジニアとしてシステム開発に従事。特定非営利活動法人日本コンピュータ振興協会においては、開発の技術や知識を活かして運営に貢献したい。

副理事長：野本力雄

○会津大学コンピュータ理工学部卒業  
○山本電気株式会社社員

野本 力雄 25歳 三春町出身 2003年3月会津大学卒業  
大学卒業時、学長賞を受賞。

理事長とは学生時代の親友関係。現在は須賀川市に本社を構える山本電気株式会社、技術管理部 研究開発課 研究開発係に所属。特定非営利活動法人日本コンピュータ振興協会の活動に至っては、主に学生による運営となるが、企業的な考え方を取り入れ副理事長として協会を引っ張って行きたい。



監事：阿久津幸央

○会津大学コンピュータ理工学部在学中

法人設立当初は会員として活動し、今年度から監事に就任。  
昨年度とは違う立場から当法人のあり方・目的等を見つめなおし、今後、発展するであろう情報社会に対応するためにコンピュータの教育・支援等を積極的に行い、よりいっそうの地域社会への貢献を目指して行きたいと思う。

## 活動報告

### ◎総会

6月18日に当法人の通常総会が行われ、平成16年度の事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書承認の件が承認可決されました。

### ◎理事会

6月18日に当法人の理事会が行われ、平成17年度事業計画、収支予算、入会金及び会費規定、理事3名選任、監事1名選任の件が承認可決されました。会費については、正会員の会費は入会金2,000円、年会費1,000円となり、賛助会員の会費は入会金無し、年会費5,000円となります。

役員の選任については、理事長の根元雅昭氏と副理事長の野本力雄氏は再任しました。また理事には真水健介氏が松尾美保氏の後任として選任され、監事には阿久津幸央氏が一

澤泰平氏の後任として選任されました。役員の挨拶は2面に記載しております。

### ◎IT講習会

パソコンに親しんでもらおうと、当法人主催の初心者向けIT講習会が8月14・21・28日に、福島市にある福島県青少年会館で行われました。延べ70名以上の方々が参加し、初日には電源の入れ方・キーボードの使い方などの基礎的な操作方法から始まり、2日目にはワープロソフトを使ったカレンダー作成などをを行い、3日目には表計算ソフトを使った家計簿作成を行いました。

この講習会の模様は、福島テレビ、福島民報社、福島民友新聞社の取材を受けました。

当法人では、今後もこのような講習会を継続的に続けていく予定です。



8月21日  
福島県青少年会館にて

## 会員談話（講師・アシスタント・受講生の声）

### ・講師の感想

福島市での開催は今回で3回目で、受講される方々は毎回とても熱心で、お互いに学びあいながら公衆を行っています。中には前回の講習で初めてコンピュータに触れられた方もおり、その方が今回驚異的にレベルアップしていた事に驚きました。今後も引き続きこのような講習会を行い、さらに充実した講習を行えればと思います。（根元 雅昭）

### ・アシスタントの感想

前々から一度IT講習会に参加してみたいと思っていましたが、今回初めて、アシスタントとして参加できました。受講生は20代から80代まで幅広かったです、みんな真剣に取り組んでいました。IT講習会の必要性が肌で感じられて良かったです。また機会があればやりたいですね。（安積 卓也）

初めてパソコンを操作したときはどんな人でもドキドキだと思います。私も大学に入つて初めてパソコンを操作しました。こんなことをしたら壊れてしまうのでは？、何が正しいのか？そんなことを考えて操作していたと思います。講習会のアシスタントをさせていただいて、一番インパクトがあったことは、まず、受講生の年齢層が大変上の方だったことでした。そのため、受講生の方のほうが私よりもかなり目上の方でしたので初めは“教え”ということに大変戸惑いました。しかし、高齢になられても新しいことを学び取ろうとするその意欲や、真剣に勉強するという意気込みに感動せずにいられませんでした。“教える”ということを通して、人と触れ合うこと、自分が忘れていた“生涯学習”という気持ちを教えていただいたように思います。これから、自分がパソコンと関わっていく中でその気持ちを忘れないでいきたいと思います。また、講習に参加していた方々にはこれからもパソコンを怖がらずに続けて頂きたいと思います（ペンネーム K）

教えるということは、こちらに「伝える力」が必要とされます。こちらにいくら知識があったとしても、「伝える力」が無ければその知識が持つ価値は半減してしまいます。しかし、このような力はすぐに養われるものではありません。そして、普段の学生生活において、このような力を養う場面は限られています。ですので、今回この講習に参加したことは、私にとても貴重な経験ができたと思っています。（藤城 秀徳）

### ・受講生の感想

市の講習会（IT）を受講したときは自分のパソコンがなく、しばらく過ぎてから購入したので以前教わった事はほとんど忘れてました。今回の講習会で教わり、目的だったワードにまだまだ不安はありますがマニュアルの書き換えを行ってみたい、と考えています。また、次の時も参加したいと思っています。理解の悪いオバさんを教えて頂き、感謝しています。（渡辺 フサ子）

三回の講習、本当に丁寧に優しく教えて下さりありがとうございました。自分の頭がさびきっていることを痛感しました。もっともっと頭をみがかない使いこなせないような気がします。あと3回～4回教えていただけたら大変嬉しいと思います。11月か12月の年賀状等の講習会もぜひ参加したいです。ともかく若い方達が年配の私達にこんせつ丁寧に教えて下さり、本当にありがとうございました。感謝です。とりあえずパソコンを怖がらずにさわていきたいです。

（二瓶 静子）

初心者にわかりやすく手取り足取り指導して頂き感謝しています。私の一番の目的でした文章作成の日に都合で参加できなくて残念でした。2日間教えて頂いた事を復習してぜひ文章を作れるように練習したいと思っています。基本操作はもちろんですが、一度には覚えられないで目的に合った一番やりたいことのための講習会があったらと思いました。（八巻 恵子）

三日間ありがとうございました。親切でわかりやすくとても楽しくできました。また機会がありましたら参加したいと思います。

（ペンネーム こばちゃん）

昨年の年賀状作成と今回の講習会の2回を受講させて頂き、大変充実したパソコン操作に携わることができ、ただただ感謝の一言につきます。以前からパソコンには興味はありませんでしたが難しそうなのでなかなかとびつけずにおりました。この講習会は決して無理のない内容でしかも先生方の教え方がわかりやすく勇気付けられたこと、それから受講料が魅力的です。仕事をもっているためなかなか機会がもてない今日、日曜日ごと3回程度は年配の私たちにはちょうど良いですね。今後もぜひお願い致します。パソコンの操作が楽しくなるばかりです。※次回はデジカメの取り込み操作なども教えてください。

（ペンネーム M.K）



福島県青少年会館

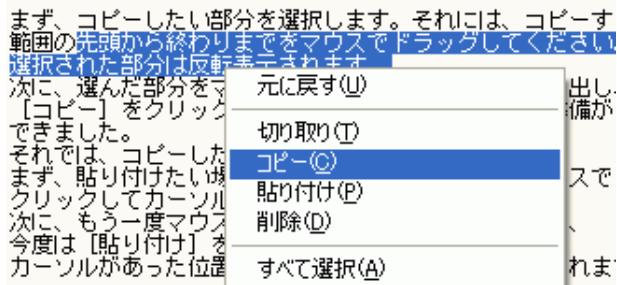
教える側、教わる側  
互いに感想を読みあ  
うことはとても良い  
ことだと思います。



IT講習会の様子  
真剣に取り組んでいるのが  
伺えます。

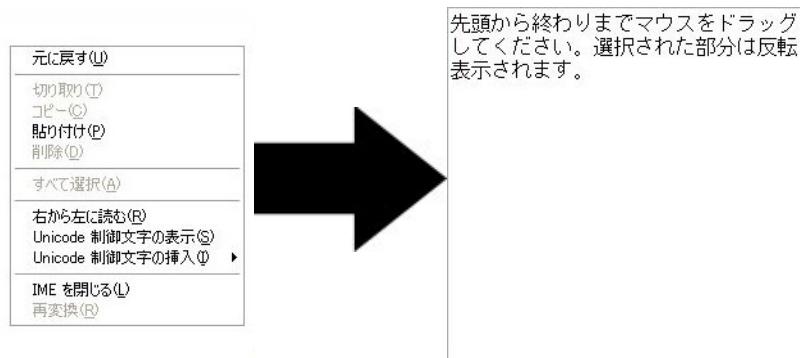
## パソコンワンポイントテクニック

キーボードから文章を入力していると、以前入力した内容と同じものをもう一度入力したいときがあります。もちろん単純に打ち直してもよいのですが、「コピー」と「貼り付け」昨日使うと、もっと簡単に入力することができます。まず、コピーしたい部分を選択します。それにはコピーする範囲の先頭から終わりまでをマウスでドラッグしてください。選択された部分は反転表示されます。次に、選んだ部分をマウスで右クリックしてメニューを出し、「コピー」をクリックしてください。（右図参照）



これでコピーの準備ができました。

それでは、コピーしたものを貼り付けてみましょう。まず、貼り付けたい場所にカーソルを移動します。マウスでクリックしてカーソルを動かしてください。次に、もう一度マウスを右クリックしてメニューを出し、今度は「貼り付け」をクリックしてください。すると、カーソルがあつた位置に先ほどコピーした内容が入力されます。



今回は「コピー」と「貼り付け」をご紹介しました。これは同じような文章を何度も入力する必要がある場合に大変便利です。ぜひ活用してみてください。

紹介するパソコンの  
テクニックはほんと  
にちょっとしたこと  
だけれどもすごく役  
に立つ、そんな身近  
なテクニックを図解  
説入りで紹介してい  
きます。

◎11月に、年賀状作成講座を予定（講師募集中）

◎検定試験の検定委員を正会員から募集中

また、会報誌は奇数月に発行していくつも  
ります。次回の発行は11月1日になります。



背あぶり山にて

当法人では隨時、正会員・賛助会員を募集しております。

## JCPA

福島県福島市南向台一丁目10番地の1

電話 024（523）2677

FAX 024（523）2677

Email:dir@computer.or.jp(理事会)



### 特定非営利活動法人日本コンピュータ振興協会

#### 正会員

- この法人の目的に賛同して入会した、個人及び団体
- 入会金2,000円、年会費一口1,000円（一口以上）

#### 賛助会員

- この法人の事業を賛助するために入会した、個人及び団体
- 入会金無料、年会費一口5,000円（一口以上）

加入したい方、またなにかご質問等ある方、左記の連絡先までお問い合わせください。

日本コンピュータ振興協会は、不特定多数の人々にコンピュータなどの情報機器の教育や支援を行ない、情報化社会の発展と社会教育の推進を図り、広く公益に貢献することを目的として設立された、特定非営利活動法人です。

## 編集後記

今回初の会報誌発行ということで、活動の概要などを載せてみました。今後も継続的に二ヶ月に一度程度の発行を予定していますので、ご要望などございましたらご連絡頂ければ幸いです。また、コンピュータに対するご質問なども、ドンドンお寄せ下さい。この紙面上で回答出来たらと思います。次回は11月1日の発行を予定しております。(根本 雅昭)

いきなり第一回の会報誌の作成を任せられました。会報誌の作成が監事の仕事かどうかはよくわからないですが、どういう風に作ってよいかすらわからないままに作ってしまったのでもし、至らない点がありましたら皆様ご指摘をお願いいたします。ちなみに会報誌のあちこちに貼ってある写真は理事長がとったものです。風景写真などもスペースが空いていたので貼ってみました。(阿久津 幸央)

